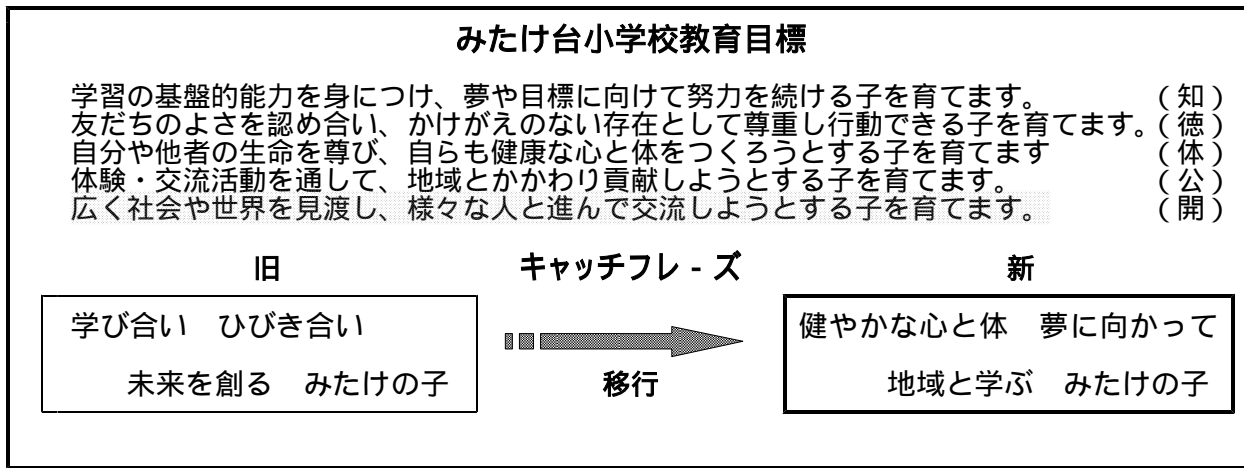


小中一貫ブロック

鉄小学校  
みたけ台中学校

小中一貫教育

- ・学校運営の協議
- ・児童生徒の理解・指導
- ・学びの連続性
- ・児童、保護者、教職員の交流



本校が育てる『みたけの子』の姿

	知	徳	体	公	開
低学年	話をしっかり聞き、学ぶ楽しさを味わえる子	あいさつができ、きまりや約束を守って、みんなと仲良く活動できる子	規則正しい生活を守り、自ら進んで体を動かす子	身近な人や仲間とかかわりながら、一緒に楽しく生活できる子	地域の良さに気づき、日本の伝統文化に親しむことができる子
中学年	興味関心を広げ、課題解決に向けねばり強くやりとげる子	物事の善悪を判断し、正しいことを大切にしながら行動できる子	食生活の大切さを理解し、進んで健康でたくましい体をつくらうとする子	進んで地域の人々とかかわり、地域活動に参加する子	くらしを支える人々とのコミュニケーションを通じて、社会への視野を広げる子
高学年	積み重ねた力を活用して、自らすすんで問題を解決していく子	相手の立場や心情を認め合い、かけがえのない存在として尊重し行動できる子	運動に親しみをもち、自分や他者の生命を尊び、自らも健康な心と体をつくる子	地域や横浜について理解を深め、積極的に地域社会にかかわる子	広く社会や世界を見渡し、様々な人と進んで交流しようとする子

学校教育目標を実現するための6つの重点課題

<b>豊かな心の育成</b> 道徳教育の充実、人権教育の充実 伝統文化を尊重する態度の育成	<b>健康でたくましい体の育成</b> 健やかな心身の育成、健康教育 健康や食生活にかかわる能力の育成	<b>国語力及び学習の基盤的能力の育成</b> 言語活動の充実 理数教育の充実
<b>コミュニケーション能力の育成</b> 心豊かな人間関係づくり 社会的スキルの育成、外国語活動の推進	<b>情報社会を生き抜く能力の育成</b> 情報活用能力・モラル・マナ - の育成 教育の情報化の推進	<b>社会の変化に対応する能力の育成</b> 環境教育、食教育、安全教育 福祉教育、キャリア教育等の充実

学校教育目標を実現するための特色ある具体的な取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>チ・ムで取り組む児童指導</li> <li>特別支援教育の推進</li> <li>異年齢交流活動の充実</li> <li>あいさつ運動の充実</li> <li>体験活動・校外学習の充実</li> <li>出前授業の充実</li> <li>関係機関(児童福祉施設等)との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域・保護者との連携協力</li> <li>・まちの先生による栽培体験学習</li> <li>・教育サポートによる学習生活支援</li> <li>夢教育応援団、学援隊、PTA、親父の会、他との連携・協力</li> <li>『まち』とともに歩む学校づくり懇話会との連携・協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『みたけの時間』の再編充実</li> <li>学習の基盤的能力の育成からだづくりの推進</li> <li>言語活動の充実</li> <li>幼保小連携・小中一貫教育の推進</li> <li>社会的スキルの育成</li> <li>社会の変化に対応する教育の推進</li> </ul>
--	--	---

教科の指導目標・指導計画

学年の指導目標・指導計画

領域等の指導目標・指導計画

めざす学校の姿

だれもが 安心して 豊かに 自分が自分として生き生きと生活できる学校

授業改善

- ・しっかり教え しっかり引き出す 指導を実践する学校
- ・友だちの良さを認め合い、尊重して行動できる子を育てる学校
- ・命の大切さを知り、健やかな心と体をつくらうとする子を育てる学校
- ・体験・交流活動を通して、人や地域とのかかわりを大切にする学校

学校評価

P D C A

各教科・領域等の指導目標

人権教育

児童が発達段階に応じ、人権の意義・内容等について理解するとともに、「自分の大切さと共に他の人の大切さを認めること」ができるようになり、それが様々な場面や状況下で、具体的な態度や行動に現れるようにする。

道徳教育

学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。

教科

領域等

国語

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

社会

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

算数

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

理科

自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物・現象についての実感を持った理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。

生活

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。

音楽

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

図画工作

表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

家庭

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にすることを学び、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。

体育

心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

道徳

各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳実践力を育成する。

特別活動

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

総合的な学習の時間

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

外国語活動

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

授業改善の視点

教育課程編成の工夫  
指導内容・方法の工夫  
研究・研修の工夫  
教育サポ-タ-との連携  
家庭地域との連携  
小中一貫カリキュラム  
学びの連続性  
指導の一貫性

しっかり教え しっかり引き出す  
指導の実践

特別支援教育

特別な支援を必要とする児童一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う

本校が育てる『みたけの子』の姿

学習の基盤的能力を身につけ、夢や目標に向けて努力を続ける子 (知)  
友だちのよさを認め合い、かけがえない存在として尊重し行動できる子 (徳)  
自分や他者の生命を尊び、自らも健康な心と体をつくらうとする子 (体)  
体験・交流活動を通して、地域とかかわり貢献しようとする子 (公)  
広く社会や世界を見渡し、様々な人と進んで交流しようとする子 (開)

健やかな心と体 夢に向かって 地域と学ぶ みたけの子

教育課題

健康教育

自己の心や体の健康に関心を持ち、生活習慣や心身の成長発達について正し理解や知識を身につけながら、自律的に健康管理をしたり、運動スポ-ツに親しんだり、体力の向上を目指したりできるようにする。

福祉教育

地域や関係機関と連携し、障害者・高齢者に対する正しい知識を身につけ、福祉社会づくりのための姿勢や資質を育成する。

安全教育

家庭・地域・関係機関との連携・協働のもと、安全に対する情報を正しく判断し、安全のための行動に結びつけることができる力を育成する。

環境教育

地球規模の環境問題、都市、生活型公害問題、資源・エネルギー・問題等を各教科、道徳、特別活動および横浜の時間で学習する。

食教育

望ましい栄養や食事の摂り方、食品の品質および安全性等について自ら判断できる能力、生産者に対する感謝の心、食習慣の形成産物、食文化の理解を各教科、道徳、特別活動および横浜の時間で育む。

キャリア教育

社会人・職業人として自立していくために、子どもたち一人ひとりの勤労観・職業観を育てる。

教科の重点目標・指導計画

学年の重点目標・指導計画

領域等の全体計画・指導計画

